

七ヶ宿町 七ヶ宿町立七ヶ宿小学校(総合的な学習の時間)「七ヶ宿おいしんばんたんけん」

○市町名 七ヶ宿町

○学校名 七ヶ宿町立七ヶ宿小学校

○期 日 令和7年9月5日(金)

○内 容

総合的な学習の時間(3・4年)

「七ヶ宿おいしんばんたんけん」

- ・七ヶ宿の基幹産業に成長しつつあるそば作りについて理解を深める。
 - ・そばの栽培、収穫、振興について、探究活動に取り組む。
 - ・そば打ち体験活動を通して、生産者や湯原地域の人々の思いや苦労、工夫などを理解し、七ヶ宿に暮らす自分の生き方について考える。
 - ・そば打ち(本時)、そば菓子(パンケーキなど)作りを体験し、それを機に、今後の七ヶ宿町でのそばの振興について考え、具体的な製品についてのアイデアを出す。
- ⇒実現できそうなものを選び、実際に試作品を作ってみる。

○講 師

農民そばや芭蕉庵 山田 岳彦 氏

○指導補助(協力)

七ヶ宿町地域学校協働活動推進員

成田 知将 氏

○児童の声

- ・そば打ち体験は初めてだったので、きちんとそばができてよかったです。難しかったのは、そばを細く切るところです。(3年)
- ・そばを切るのが楽しかったです。でも、油断すると指を切るかもしれないと思ったら、ちょっとこわかったです。(3年)
- ・初めてそば打ちをやってみました。生地を棒で伸ばすところが楽しいと思いました。次は生地で違うものを作りたいです。(4年)
- ・そばを細かく切らなければならないのだけど、極太になってしまいました。でも、楽しかったです。また、やってみたいです。(4年)
- ・そばを上手に切ることができました。自分で作ったので特別な感じがして、私の大好きなうどんよりもおいしく感じました。(4年)



○講師から

七ヶ宿の農作物と言えば、もちろん「源流米」に代表される米が有名ですが、「そば」もそれに肩を並べられる程の特産品にしたいというのが、私たち“そば打ち職人”としての願いです。

今回の「そば打ち」体験で、子供たちは、しっかりと真面目に話を聞き、私がそばを打つ姿を真剣に見つめながら、活動に取り組んでくれました。

後片付けのお手伝いなども、進んで行ってくれて感心しました。

これからは、七ヶ宿の「そば」をもっと盛り上げるためにどうしたらよいのかを子供たちと一緒に考え、子供ならではの自由な発想で、そばを使ったアイデア商品を考え出してもらえたらうれしいですね。

(農民そばや芭蕉庵 山田 岳彦)



○教職員の声

これまで、そばの栽培から収穫、調理まで、すべての指導をお願いしていた芭蕉庵の山田益広氏が、御子息の岳彦氏に指導を託されたので、活動内容を一部改定し、栽培や収穫についてはSNSを活用した探究活動で代替し、そば打ち、そば菓子（パンケーキなど）作りに加えて、「今後の七ヶ宿町でのそばの振興に向けてのアイデア製品を考え出す」という活動を組み込みました。始めは子供たちの中から、先輩たちが体験してきた栽培や収穫ができないことを残念がる声も聞こえてきましたが、自分たちが考えた「アイデア製品」が試作されるということで、意欲は高まってきていると感じています。

今回の「そば打ち」体験では、講師の山田氏による丁寧な下準備と、静かなる情熱がじわじわと伝わってくる指導により、意欲的かつ円滑な活動ができました。顔に付いたそば粉を拭いもせず、一心不乱に生地を練り、延ばしていく子供たちの

表情が印象的でした。そば職人の皆さんの「ふるさと“七ヶ宿”を、そばでもっと盛り立て、更にすてきな町にしていこう！」という夢と、それに向けたたゆまぬ努力を子供たちは肌で感じながら、自分たちなりに心を込めて、そばを打つことができたと思います。

その後、秋休みに「そばやそば粉を使った商品アイデア＜第1弾＞」を考えてくる課題を出しました。「そば粉ショートケーキ」「そば粉シュークリーム」「そば粉たこ焼き」など、楽しいアイデアが出てきて、今後の活動がとても楽しみです。



○教育事務所から

ふるさと七ヶ宿を愛し、夢と志を持って未来を創造する児童の育成を目指している七ヶ宿小学校。地域住民との交流・体験活動は、ふるさとに対する学びや気付きを与えるとともに、子供たちの豊かな心を育むすばらしい機会になっていると感じました。